

《コース専門教育科目 コース専門基礎科目》

科目名	社会科教育法				
担当者氏名	中村 清一				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択必修	開講年次・開講期	3年・春期

《授業の概要》

本講義では、社会科としての目標等をあらためて検討すると共に、子どもが現代社会を主体的に生きるために必要な判断力の基礎を身につけさせるための授業方法を研究する。学習指導要領の理解を図るとともに、各学年の具体的な教材を取り上げながら、学習指導案を作成できる力を養成する。

受講生は9～11回のうちに一度、10分程度の模擬授業を行うこととする。

《授業の到達目標》

社会科のねらいは、社会を、子どもの認識の対象として捉えるだけでなく、子どもが生きる場として主体的に把握させることである。社会生活について理解を図ること、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てること、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者としての必要な公民的資質を養うことが小学校社会科の目標であり、学年ごとの目標、内容、内容の取扱いを踏まえた社会科のあり方を求める。

《成績評価の方法》

講義への取り組み姿勢（10%）、小レポート(20%)、学習指導案（70%）で総合的に評価する。

《テキスト》

小学校学習指導要領社会編  
文部科学省検定済み教科書 小学校社会 全学年上下

《参考図書》

その他、資料を適宜配布する。

《授業時間外学習》

毎回、次回の授業のテーマを指示するので、関連する学習指導要領および教科書を予習してくること。  
また、レポートとして演習課題も要求するので、自宅で準備して提出すること。

《備考》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	はじめに	学習指導要領の改訂とそのポイントについて
2	小学校社会科の内容の取扱いについて	小学校社会科の多様な授業方法を概括する
3	第3学年の社会	第3学年の目標と内容、内容の取扱い 地域と生活環境に関する教材研究
4	第4学年の社会	第4学年の目標と内容、内容の取扱い 健康な暮らしとまちづくりに関する教材研究
5	第5学年の社会(1)	第5学年の目標と内容 日本の国土に関する教材研究と地球儀の利用についての実習
6	第5学年の社会(2)	第5学年の内容の取扱い 情報社会と新聞 新聞作成演習
7	第6学年の社会(1)	第6学年の目標 教科書の歴史資料の読み取りと扱い方の模擬授業(1)
8	第6学年の社会(2)	第6学年の内容 教科書の歴史資料の読み取りと扱い方の模擬授業(2)
9	第6学年の社会(3)	第6学年の内容の取扱い 政治の働きと国民生活の模擬授業
10	指導計画の作成(1)	学習指導案の作成のポイントである「主題」や「単元の指導計画」等を取り扱う。 パワーポイントで例示として示す学習指導案の記述について考察し検討する。
11	指導計画の作成(2)	「評価基準」「本時の指導」「準備資料」「板書計画」について取り扱う。 パワーポイントで例示として示す学習指導案の記述について考察し検討する。
12	学習指導案の作成演習1	パソコンを利用し、各自が自分で選んだ学年の教材を学習指導案として作成
13	学習指導案の作成演習2	パソコンを利用し、各自が自分で選んだ学年の教材を学習指導案として作成
14	学習指導案の作成演習3	パソコンを利用し、各自が自分で選んだ学年の教材を学習指導案として作成
15	まとめ	社会科における主体的な学習力と「生きる力」をどのように育てるか